

投資するファンドの選定理由 * 下記の、注記)を必ずお読みください。

Q なぜ、この4本のファンドを選んだのですか？

A 最大の理由は、これまでの実績です。
それぞれのジャンルで優れた実績を上げている「アクティブ」ファンドを選びました。
(運用を開始して間もないファンドについては、同じ方針で運用しているファンドをベースとしています。)

「過去の実績が良かったから、将来も良い。」とは必ずしも言えません。
しかし、運用の中身を分析すると、“タマタマ”良かったのか?、“実績を出すべくして”良かったのか?がわかります。
4本のファンドは、ともに“実績を出すべくして”実績を上げたファンドであるとユニオン投信株式会社は分析しています。

4本のファンドに共通する点は以下の通りです。

- 「インデックス型」のファンドではありません。
日経平均、TOPIX、NY ダウ、SP500、上海総合指数などが「インデックス」です。「インデックス」に連動した運用を目指しているのが「インデックス型」ファンドです。

「インデックス型」ファンドの短所は以下の通りと考えます。
 - ① 市場全体が割高な時でも投資すること。
 - ② 業績が芳しくない銘柄にも投資すること。
 - ③ 未成熟な市場では「インデックス」自体が、いびつな構成になっている場合があること。
(その場合、偏りの大きい業種・銘柄の影響を大きく受けしてしまうこと。)
- 4本のファンドは銘柄選択をきちんと行う「アクティブ」ファンドです。
“実績を出すべき”ノウハウを心得ているファンドです。
たとえば、
 - ① 長期的な成長テーマに絞っています…さわかみ
 - ② 割高と判断した銘柄には原則手を出しません…キャピタル、ハリス
 - ③ 市場で評判になる前の段階で成長企業を発掘するのが得意です…コムジェスト
- ノウハウを実践する優秀なアナリスト・ファンドマネージャーが揃っています。
- 中心となるファンドマネージャーの交代がほとんどなく、一貫した運用を続けています。
また、チームワークの良い、メンバー定着率の高い組織づくりを行っています。

Q コストが安いので「インデックス型」運用のほうが良い、と言われていたのですが？

A 4本の採用ファンドは、ともにコストを考慮したベースで「インデックス」の実績を長期間の累積で上回っています。

多数の「アクティブ」ファンドが中長期では「インデックス」よりも実績が下回っているというのが現実ですが、この4本のファンドのように長期にわたって「インデックス」の実績を上回っている「アクティブ」ファンドが世界に点在していることも事実です。

注記)

◆このレポートはユニオン投信株式会社が、「ユニオンファンド」採用ファンドに関し、独自の調査・分析結果をしたものであり、当該投資信託受益権及びその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」及び「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。